

エコールみよた Clip Board

エコール
みよた
32-9100

『歴史の旅』 参加者募集

町公民館では、「歴史の旅」の参加者を募集します。

本年度は、長野県にも関係が深く大河ドラマ「風林火山」でも注目を集めている、甲府市を訪ねる「戦国・ロマンの旅」を計画しました。

ご近所・お友達をお誘いの上ご参加ください。

日 程
3月16日(日)～17日(月)1泊2日

出 発
エコールみよた 午前8時

見学場所
1日目
風林火山館・山梨県立美術館・武田神社 他

2日目
善光寺・恵林寺・信玄公宝物館 他

募集定員
43名(定員になり次第締め切ります)

宿泊場所 石和温泉

参加費 1人20,000円

申し込み
2月9日(土)午前9時より電話(32-2770または32-9100)で申し込みを受け付けます。

受付時間 午前9時～午後5時

※参加者には、2月26日(火)に開催予定の事前学習会に参加して、事前研修を受けていただきます。

※詳しい日程等は、後日参加者へご連絡いたします。

問い合わせ先 町公民館 32-2770

浅間縄文
ミュージアム
32-8922

企画展 佐久の遺跡“お宝大集合!”

重要文化財の土器、梵鐘ほか、佐久地方の古代の至宝が集まります。ぜひご覧ください。

期間:1月26日(土)～2月11日(月)

場所:浅間縄文ミュージアム 企画展示室/入場無料

企画展 古代のナベはどう使われたか?

遺跡から出土する古代のナベはどう使われたか? その謎に迫ります。

期間:2月16日(土)～2月24日(日)

場所:浅間縄文ミュージアム 企画展示室/入場無料

講演会 列島2万年の住まいの歴史

古代建築の第一人者、宮本長二郎先生のお話です。

日時:2月3日(日) 午後1時30分～3時30分

場所:浅間縄文ミュージアム/入場無料

講師:宮本 長二郎 先生(別府大学客員教授)

講演会 古代のナベはどう使われたか?

古代土器の利用法に関する第一人者、小林正史先生のお話です。

日時:2月24日(日) 午後1時30分～3時

場所:浅間縄文ミュージアム/入場無料

講師:小林 正史 先生(北陸学園短期大学教授)

皆様のご意見をお聞かせください 利用者懇談会開催のお知らせ

日 時: 2月26日(火)
午後2時～3時
午後6時30分～7時30分

場 所: エコールみよた 中会議室

日頃、図書館を利用いただいている皆様のご意見やご要望をお聞かせください。

ご意見は、今後のよりよい図書館運営のために、活用していきます。

昼・夜のどちらか都合のよい時間に、お出かけください。

フレンドリー
図書館
32-0800



チームはもちろん、個人でも参加できます!

第14回 御代田町民カーリング大会を開催

3月9日(日) 午前9時開会式(受付8時30分～)

場 所 カーリングホールみよた

体協カーリング部で、恒例の町民カーリング大会を開催します。
親子やお友だちと一緒に参加してみませんか。
町民カーリング教室も開催中です。

主 催:御代田町体育協会 / 主管:御代田町体育協会カーリング部
後 援:カーリングホールみよた

参加者募集中!!

申込締切3月5日(水)

参加資格

町民または、町内に勤務している人
(小学校5年生以上)

参加費

・大人……2,000円
・子ども……1,000円

(リンク使用料、用具使用料、保険料・昼食代を含む)

※参加費は大会当日に集金します。

申込方法

・4人から6人のチーム
・個人(個人参加の場合は、事務局でチーム編成します)

申し込み・問い合わせ先

・カーリングホールみよた
☎(32)0019
・御代田町体育協会カーリング部
事務局(柏木寛昭)

持ち物

・上履き(泥などで汚れていないもの)
・手袋・帽子
※オーバースポーンやジャンパーなどの防寒着も用意してください。

その他

練習をしたい人は、町民カーリング教室にご参加いただくか、カーリングホールみよたに電話連絡をしてからお出かけください。

はじめまして

絵本の世界

ほんとに、いい出会い。

BOOK
コーナー



『なーらんだ』
三浦太郎/作・絵
こぐま社

子どものお気に入りの遊びの一つに、おもちゃなどを並べる、というのがあります。誰かが教えなくても並べることの楽しみを知っていて、「自分もそうやって遊んだ」という覚えのある方もいるのではないのでしょうか。本のまねをして並べる遊びを始めても「片付けなさい!」などと怒らずに、一緒に楽しんでみてください。

『なーらんだ』
最初は、ありさんが見開きのページのあちこちに散らばっています。ページをめくると「なーらんだ」と整列しています。この他に鳥、クレヨン、車などが登場します。ばらばらに散らばっていたものが、次のページでは並んでいるという繰り返しになっています。最後のページの子どもとびつきの笑顔も印象的です。



『ぎょうれつ ぎょうれつ』
マリサビーナ・ルツソ/絵文
徳間書店

『ぎょうれつ ぎょうれつ』
「おひるごはんですよ」とお母さんが呼んでいます。でも、サムは「ちよつとまって」と返事をしてつみきを並べました。行列の出発です。つみきの次は、本、おふろのおもちゃ、靴、おもちゃの自動車、台所までもうちよつとこのと並べるものがあります。サムは、寝転んで両手をおもいつきりのばして台所に到着しました。お母さんは行列を見ても怒ったりせず、サムを抱き上げました。いきいきとした子どもの姿とおおらかに受け止めるお母さんの姿が描き出されています。

『なーらんだ』は、おすわりができるようになった頃から、『ぎょうれつ ぎょうれつ』は、おもちゃで遊ぶのに興味を示してから読んでもらうのがよいでしょう。